

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
根岸ステークス	ハンデ	GIII	東京	ダート1400m	稍重想定	平坦	大荒れ	E or F

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	斤量	能力	コース	馬場	血統	展開	総合	人気	印	結果
1	ワンダーリーデル	田中勝	スチーフ・リパティ	ストームキャット	マヤノトップガン	ロベルト	56	B	B	C	B	B	C	12	消	
2	スマートダンディー	内田博	エンパイアメーカー	ミスター・ロビン	Mr. Greeley	ミスター・ロビン	56	D	C	C	B	B	D	15	消	
3	レッドゼル	川田	ロードカナロア	キングマンボ	フレンチデビュティ	ゲイストジェント	56	B	D	B	B	B	C	1	☆	
4	ダイメイフジ	柴田大	アグネスデジタル	ミスター・ロビン	ダンスインザダーク	サンデーサイレンス	56	D	C	C	B	D	D	16	消	
5	ブルベアイリーデ	大野	キンシャサノキセキ	フジキセキ	ストーミングホーム	ミスター・ロビン	56	C	A	B	B	B	B	14	◎	
6	タイムフライヤー	ルメール	ハーツクライ	サンデーサイレンス	ブライアンズタイム	ロベルト	57	A	C	B	C	B	C	2	○	
7	ヤマニンアンブリメ	武豊	シニスター	エービーインディ	サンデーサイレンス	サンデーサイレンス	55	D	D	B	B	B	D	13	消	
8	スマートセラヴィー	戸崎	ヘニーヒューズ	ストームキャット	Mr. Greeley	ミスター・ロビン	56	C	C	C	B	D	D	9	消	
9	ヘリオス	北村宏	オルフェーヴル	ステイゴールド	フレンチデビュティ	ゲイストジェント	56	C	B	B	B	D	D	7	消	
10	メイショウテンスイ	蛭名	ダンカーク	ミスター・ロビン	ゼンノロブロイ	サンデーサイレンス	55	C	A	C	B	D	D	11	消	
11	サブノジュニア	森泰斗	サウスヴィグラス	ミスター・ロビン	カコイーシーズ	レイズアニティヴ	59	B	D	C	B	B	D	8	消	
12	テイエムサウスダン	石橋脩	サウスヴィグラス	ミスター・ロビン	Langfuhr	ダンジグ	55	C	B	C	B	D	D	4	消	
13	サクセスエナジー	酒井	キンシャサノキセキ	フジキセキ	ジャングルポケット	トニービン	57	B	C	C	C	D	D	5	消	
14	アルクトス	田辺	アドマイヤオーラ	フジキセキ	シンボリクリスエス	ロベルト	59	A	C	B	C	C	C	6	消	
15	デザートストーム	三浦	ストーミングホーム	ミスター・ロビン	Shamardal	ストームキャット	56	C	C	C	B	B	C	10	▲	
16	ステルヴィオ	横山武	ロードカナロア	キングマンボ	ファルブラヴ	ノーザンダンサー	58	C	E	D	D	D	D	3	消	

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
東京ダート1400mで行われるフェブラリーステークスの前哨戦。GIレースの前哨戦ということで見え見えの叩き台として使ってくる馬もいますが、一方で短距離路線を走っている馬がこの時期に使うレースがなくてここを目指してくる事も多い傾向。今年のメンバーを見てそうですが、前走1200mを使っていた馬がこぞってここを使ってくることが多いレース傾向だ。 そんな短距離馬がこぞってここを使ってくるという事もあり、根岸ステークスは前半ペースが速くなって差し追い込みがズバツと決まるというのが脚質の傾向。過去5年を見てもカフジタイク、ノンコノユメ、モズアスコットがズバツと外から差し切っていますし、センス良く好位から競馬ができるのが現代競馬のトレンドとしても、このレースに関しては不器用でも外からズバツと差しこれる馬が有利と言えるかもしれません。 ただ、今年に関しては人気馬が全て死角がある上にレース傾向に合いそうで買える馬がほとんどいない感じ。シルクロードSと同様にここも非常に難しい宝くじを当てるような難易度のレースだと思えます。 本命は大穴で◎ブルベアイリーデが面白そう。東京ダート1400mしか走らない馬で、なおかつ内枠で脚を溜めなければダメという非常に好走レンジの狭い馬。前走のすばるSは中京コース、霜月Sは外枠と敗因は明白ですし、脚を溜めて良い馬なので大野騎手とは手が合いそう。今回のメンバーの中で唯一それなりに期待値が高い馬に見えます。
REVIEW

※文字色の意味 2021/1/31

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

コース特徴

下級条件でも上級条件でもテンの速さがあり変わらない舞台。
上級条件ではより速い上がりが要求される。

馬場レベル&バイアス

D=やや重い

血統傾向

過去5年の活躍馬を見てもモーニンやエイシンバッケンなどストームキャットの血を持つ馬の好走がそこそこ目立っているか。それ以外にヴァイスリージェント系も活躍していますし、米国型ノーザンダンサー系がよく走っているか。

展開

サクセスエナジーを筆頭にそれなりに色気があって先行しそうな馬が多い。例年通りにハイペースで差しが決まる展開になるんじゃないだろうか。

データなど特記事項

△7歳以上で当日7番人気以下 (0-0-5-53) ×地方馬 (0-0-0-9)
×関東馬で当日7番人気以下 (0-0-0-19)
△前走OP特別で4着以下 (0-0-1-31)
×前走ジャン્યアリー-S (0-0-0-22)
×前走1200mで当日9番人気以下 (0-0-0-36)
距離短縮が優勢で距離延長はダメ

危険な馬

ステルヴィオ=加速するまでに時間がかかるタイプで、芝でも右回りコースは得意としていないタイプ。そんなわけで今回は左回りというのは良いと思うが、父ロードカナロアで母父ファルブラヴとなるとダート適性があるかは甚だ疑問。ちょっと能力的にも落ちかけているだけに・・・

妙味大な馬

特になし

穴馬

ブルベアイリーデ=東京ダート1400mしか走らない馬で、なおかつ内枠で脚を溜めなければダメという非常に好走レンジの狭い馬。
前走のすばるSは中京コース、霜月Sは外枠と敗因は明白ですし、脚を溜めて良い馬なので大野騎手とは手が合いそう。今回のメンバーの中で唯一期待値が高い馬か。

想定時計

上3F

下3F

1:22:8

35

36

想定ラップタイム

12.2 -11.1 -11.7 -11.8 -11.8 -12.0 -12.2

Copyright (C) 2014 - KAZ
AllRightsReserved.
本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

枠番	名前	騎手	印	総合評価	想定人気	PREVIEW	結果	REVIEW
1	ワンダーリーデル	田中勝	消	C	12	左回りコースでじっくり脚を溜めてこそその馬で、今回の条件はあって良さそうなタイプ。ただ、ここで田中勝春騎手を使っていることからわかるように、休み明けは一切走らないタイプ。この鞍上起用も陣営はフェブラリーSの叩き台と割り切っているからこそ起用だろう。	0	
2	スマートダンディー	内田博	消	D	15	前走のギャラクシーSはメンバーレベルや展開に恵まれた結果か。プロキオンSを見ても完全に力負けでしなし、今回は展開が向いたとしても重賞の相手でどこまでやれるだろうか。	0	
3	レッドルゼル	川田	★	C	1	ロードカナロア産駒のダート短距離馬で、1200mで溜めて溜めてズバツと差し込む競馬でこそ良さが出るタイプ。今回は展開自体は向きそうだが、1200mからの距離延長は若干疑問。最後に伸びあぐねる可能性もあるんじゃないだろうか。	0	
	ダイメイフジ	柴田大	消	D	16	意外性に富んでおり、本当にどのタイミングで走るかさっぱりわからない馬。それでもベストは1200mな感じがしますし、1400mの重賞では厳しいだろう。	0	
5	ブルベアイリーデ	大野	◎	B	14	東京ダート1400mしか走らない馬で、なおかつ内枠で脚を溜めなければダメという非常に好走レンジの狭い馬。前走のすばるSは中京コース、霜月Sは外枠と敗因は明白でしし、脚を溜めて良い馬なので大野騎手とは手が合いそう。今回のメンバーの中で唯一それなりに期待値が高い馬に見えます。	0	
6	タイムフライヤー	ルメール	○	C	2	かかり癖がある馬で、ベスト条件は小回りのダート1700mあたりか。チャンピオンズカップは力負けでしなし、そこからの距離短縮自体は良いと思うが、果たして1400mまで対応できるかどうか。短縮ローテ自体は良いと思うので、人気馬で評価するならこのあたりか。	0	
7	ヤマニンアンブリメ	武豊	消	D	13	期待した前走の東京盃がさっぱりなレースぶり。どうも高齢牝馬だけにここに来て一気に衰えが出てきた感じが。もともと1200m巧者で1400mでは若干距離が長いタイプ。さすがに今回はこの条件でどうだろうか。	0	
8	スマートセラヴィー	戸崎	消	D	9	スピードを活かしての積極策で結果を出している感じ。前走は陣営コメントも微妙な中での好走でしなし、矢作厩舎ならば使いつつ状態は上げてきているはず。ただ、差しが決まりやすい根岸ステークスで一本調子の先行タイプというのも評価しにくい。	0	
9	ヘリオス	北村宏	消	D	7	前走は外枠からスッと揉まれずに先行できての好走劇。今回は前走よりも前に行く馬に厳しい展開になりそうでしし、重賞級のメンバー相手にどこまでやれるだろうか。	0	
10	メイショウテンスイ	蛸名	消	D	11	過去の戦績を見ても左回りでだらっと脚を使わせてこそその左回り巧者。アルクトスと同じような脚の使い方の馬なので、今回の条件自体は良さそう。ただ、前に行くタイプなので今回は展開が合うかどうか微妙だ。	0	
11	サブノジュニア	森泰斗	消	D	8	昨年のJBCスプリント王者だが、そこを勝ったせいで常に59kgを背負わされるというのが難しいところ。南関時代を見てもベストは1200mに見えますし、中央のこの条件ではスピード負けしそうだが。	0	
12	テイエムサウスダン	石橋脩	消	D	4	霜月Sで久々ながら大幅に馬体を増やしてきて復活。前走は叩き2戦目で控える競馬からの完勝でしなし、ここに来て本格化してきたか。前走で控える競馬ができた点は評価できそうでしし、3連系の馬券を買うようなことになるならばある程度評価しても。現状は評価が難しいという印象です。	0	
13	サクセスエナジー	酒井	消	D	5	叩き良化型で持続力を活かしてこそその馬。前走の兵庫ゴールドトロフィーは揉まれる競馬で勝ち切ったが、メンバーレベルが低かったおかげでなんとかなった感じも。自分の競馬ができれば強いタイプだが、根岸ステークスは前に行った馬が厳しくなる傾向。なかなか評価するのは難しい。	0	
14	アルクトス	田辺	消	C	6	一本調子で左回りのワンターン戦でしか走れない馬。それを考えると今回の条件は良さそうだが、1400mでは位置を落としそうで位置を落とし差し込む脚がある馬ではなさそう。どう考えてもフェブラリーSの叩き台で、なおかつ59kgを背負うとなると評価しづらい。	0	
15	デザートストーム	三浦	▲	C	10	ここ2戦はダート1400mで最速上がりを繰り出して連続好走。1200mがベストというイメージの馬だが、ここにきて成長もしてきている感じは受けます。果たして重賞級の相手で通用するかは今回でわかるか。	0	
16	ステルヴィオ	横山武	消	D	3	加速するまでに時間がかかるタイプで、芝でも右回りコースは得意としていないタイプ。そんなわけで今回は左回りというのは良いと思うが、父ロードカナロアで母父ファルブラヴとなるとダート適性があるかは甚だ疑問。ちょっと能力的にも落ちかけているだけに・・・	0	